

八重山病院資料

当院の紹介受診重点医療機関への 取組みについて

八重山病院理念：地域と共に八重山の医療を守ります。

紹介受診重点外来の実施状況 R5/4/1～R6/3/31

外来	患者数	紹介受診重点外来				
		のべ人数	%	医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来	高額機器・設備を必要とする外来	特定の領域に特化した機能を有する外来
初診	16,181	3,721	23.0	455	2,717	1,205
再診	76,731	21,014	27.4	7,291	15,017	948

紹介受診重点外来の内訳	初診	再診
外来化学療法	0	118
外来腫瘍化学療法	0	0
CT撮影	1,345	2,683
MRI撮影	118	798
マンモグラフィ	3	20
高気圧酸素療法	6	15
悪性腫瘍手術	0	33

紹介・逆紹介の状況 R5/4/1～R6/3/31

初診患者数	紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率	逆紹介率
11,572	3,106	3,940	26.8	34.0

高額医療機器の保有状況

CT 320列	MRI 1.5テスラ	血管連続 撮影装置	マンモ グラフィ
1	1	1	1

救急医療の実施状況

休日に 受診した数	左のうち 直ちに入院した数	夜間、時間外に 受診した数	左のうち 直ちに入院した数	救急車 受入件数
6,194	732	6,567	796	2,372

八重山病院が紹介受診重点医療機関ではない理由

基準： 紹介受診重点外来の件数の割合が、初診の外来件数の**40%**以上
かつ再診の外来件数の**25%**以上であること

	初診	再診
八重山病院 R5年度実績	23.0%	27.4%

基準を満たさない場合でも：

紹介率**50%**以上かつ逆紹介率**40%**以上であること

	紹介率	逆紹介率
八重山病院 R5年度実績	26.8%	34.0%

R5年度(R5/4/1～R6/3/31)には基準をみたすことができなかったが、
R6年度の9カ月間(R6/4/1～12/31) 27.2% **46.7%**

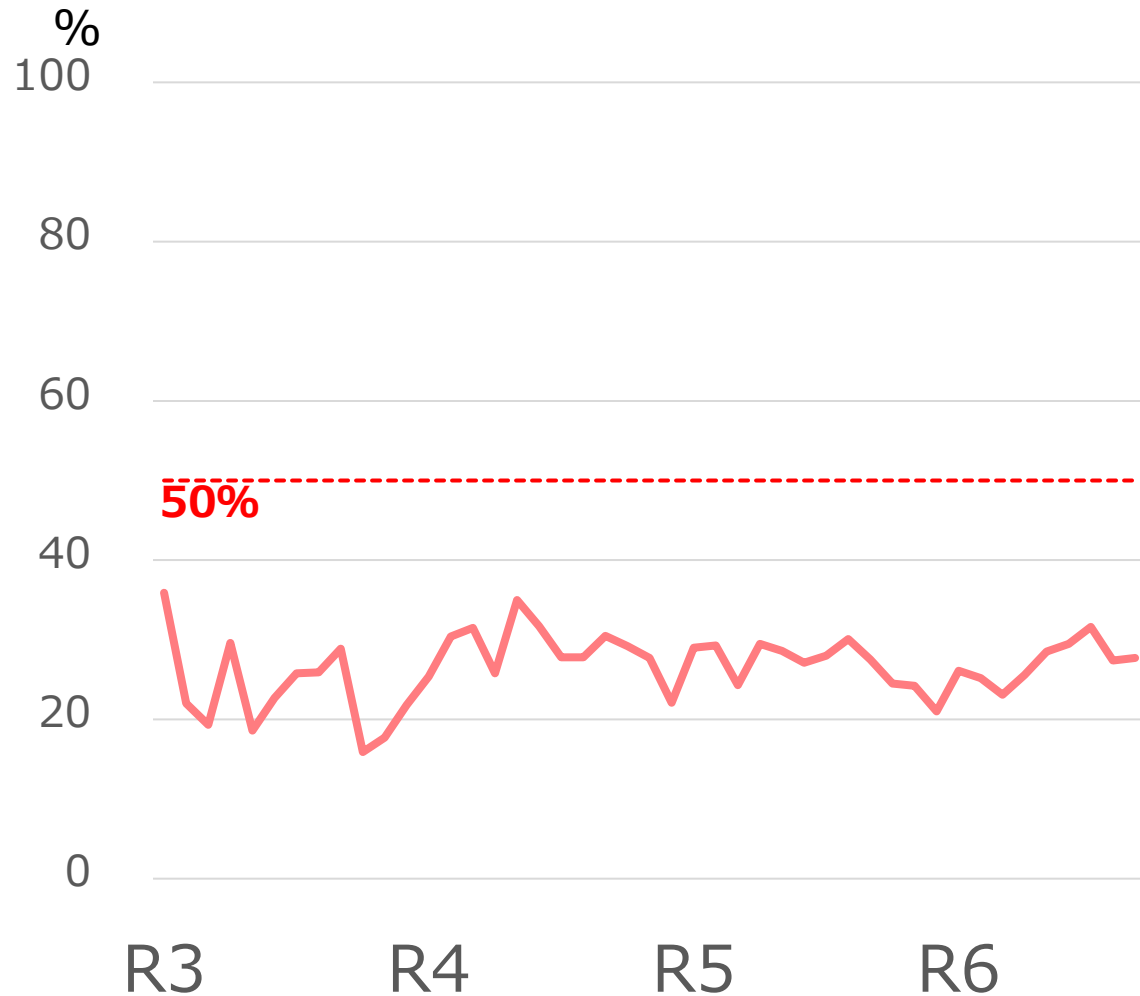
逆紹介率は達成できたが³、紹介率が低いのが課題

R3.4月～R6.12月

八重山病院 紹介率

—八重山

紹介率50%のハードルが超えられない



八重山病院 逆紹介率

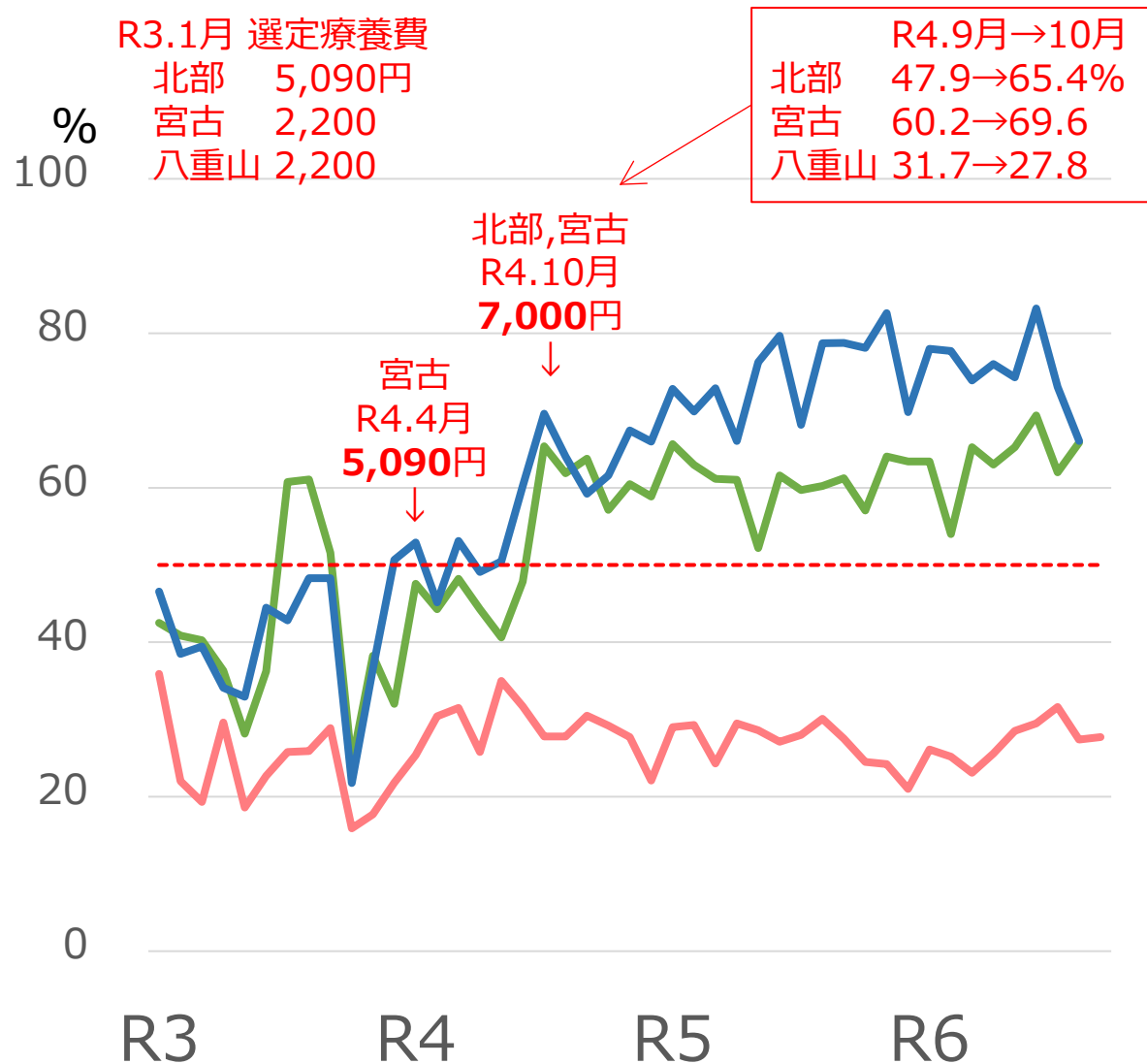
—八重山

R5年度は逆紹介率40%のハードルを超えられなかったが、R6年度は逆紹介率40%を達成している



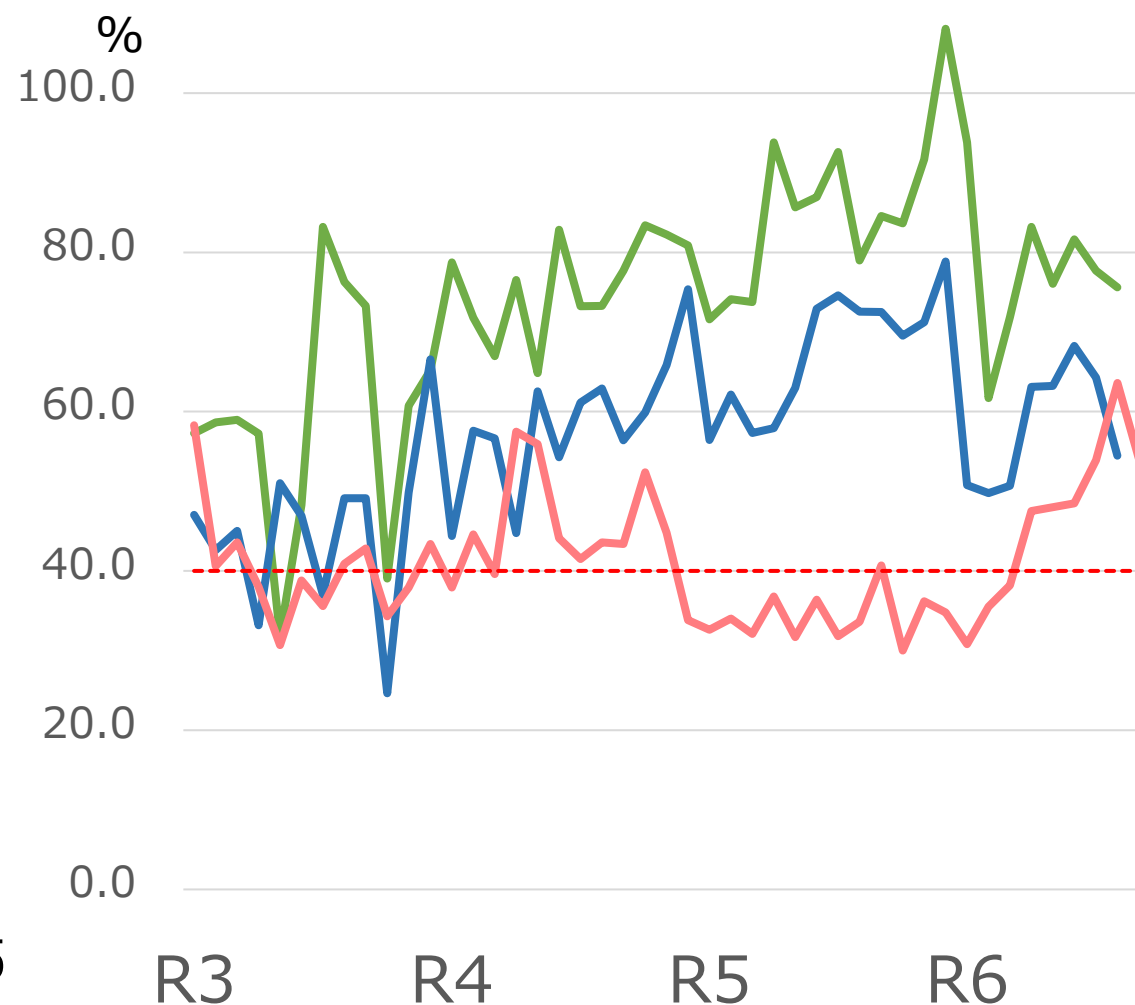
県立3病院 紹介率

— 北部 — 宮古 — 八重山



県立3病院 逆紹介率

— 北部 — 宮古 — 八重山



紹介受診重点医療機関に向けた取り組み

県立5総合病院のうち、紹介受診重点医療機関、地域医療支援病院になっていないのは八重山病院のみ

認定要件である紹介率・逆紹介率を満たしていないため

R4年度 外来機能報告提出 ⇒ 取り下げ

R5年度 保健医療部医療政策課より、紹介受診重点医療機関の要件を満たしていないと指摘 ⇒ 取り下げ

R6年度 **紹介率・逆紹介率を上昇させる取り組みが急務**である

先行して紹介受診重点医療機関となっている北部病院・宮古病院の取組みを模倣することにした

- ①地域医療機関へのアピール
- ②選定療養費アップ
- ③病院機能評価を受審

なかでも、②により患者の大病院指向・受診行動が変わり、紹介率や紹介受診重点外来の患者が増えるが見込まれる

紹介率を上げる取り組み

R5年2月 第1回**地域医療勉強会**を開催

以来、八重山医療圏の病院・クリニック・離島診療所の医療者を対象に、対面及びZOOMでの勉強会を年4回開催。

あわせて年1回情報交換会を行い、八重山病院が地域医療支援病院に取り組むことをアピール

R5年10月 逆紹介の取り組み強化

外来患者のレセプトをスクリーニングし、担当医に働きかけてクリニックへの逆紹介を推進

対象：外来診療料+処方箋料のみの診療を行っている患者

R6年10月 かかりつけ医を持ちましょうと院内ポスターでアピール

R7年4月1日より選定療養費を改定し、初診時選定療養費 2200円→7,000円、再診時選定療養費 0円→3,000円とする

紹介受診重点医療機関の認定要件

基準：

紹介受診重点外来の件数の割合が、初診の外来件数の**40%**以上かつ再診の外来件数の**25%**以上であること

基準を満たさない場合でも：

紹介率**50%**以上かつ逆紹介率**40%**以上であること

八重山病院は、逆紹介率についてはR6年度中に達成しており、紹介率は選定療養費のアップ後に達成できる見込みです